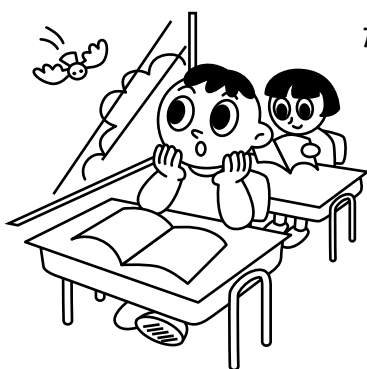


# みなさんの願いが 実現します 日本共産党

## 保育園、小中学校普通教室に クーラーがつけます



子どもたちから、「もうウチワをもって学校に行かなくてもいいの」と喜びの声が届いています。

待望の普通教室へのクーラー設置が決まり、二〇〇六年度より二丁三年間で全校に設置される予定です。

また、区立保育園の全保育室に二〇〇五年度中に設置され、私立保育園には設備助成金が支給されることになりました。

● 2005年第一回定例議会が2月23日から3月24日まで開かれました。

● 区民の所得減少、生活悪化が進むなか、国の国民増税・負担増路線と都の福祉切りすてなどの悪政から、どのように区民の暮らしを守るか、問われた議会でした。

● 日本共産党区議団は、区民の暮らしを守る立場から質問。区民の運動と結んで、ねばり強く論戦し奮闘しました。

● みなさんの願いが着実に実現しています。

## 区立の足立ヤングジョブセンター (若者の雇用支援)ができます

青年雇用は大きな社会問題。国はヤングジョブスポット北千住(青年就職の情報・相談・交流施設)を廃止しましたが、日本共産党はこの継続と内容の充実を求めてきました。

その結果、区立のヤングジョブセンターが5月の連休明けにオープンをめざし設置されることになりました。

これまでのヤングジョブスポットの機能を受け継ぐほか、就労支援もできることになりました。区は開館時間延長(午後八時まで)や、休日の開館など若者が利用しやすい施設にする約束しました。

## 前立腺がん検診の実施 特養老人ホームも増えます

前立腺がん検診は、四月から六〇歳〜六四歳の希望者を対象に実施(自己負担千円)することになりました。

二一七四人いる特別養護老人ホームの待機者を解消するため増設を要求。区は、江北三丁目、扇一丁目、旧三中跡、旧竹の塚北小跡などに設置する計画を明らかにし、小規模多機能型特養老人ホームなども検討すると答弁しました。

## 小規模工事契約希望者 登録制度ができました

区が発注する一三〇万円未満の小規模な工事や修繕を区内業者にまわす小規模工事希望者登録制度が、四月からいよいよスタートです。

今年度は九四の業者が登録し、業者からは「仕事が少ないので本当に助かる」と期待されています。

区は、引きつづき物品購入についても同様の制度を実施する予定です。

## 竹ノ塚駅踏切



調査する渡辺都議と区議団

## 鉄道高架化を急げ あわせて当面の緊急対策も

三月一五夕方、東武鉄道竹ノ塚駅の踏切で歩行者が準急列車にはねられ死傷者が発生する事故がおきました。

党区議団は、この「開かずの踏切」について二〇年前から鉄道高架化など解決を求めて渡辺やすのぶ都議や国会議員、地域住民とともに東武鉄道本社交渉を行い、毎年区にも要望し、議会でも取り上げてきました。

さらに区議団は、渡辺やすのぶ都議と三月二五日、東京都・都市整備局に鉄道高架化を求める要望書を提出し交渉。都は「鉄道高架化の検討を視野にいれつつ、緊急対策として人、自転車の安全対応について検討している」と答えました。

国会でも、日本共産党の事故原因究明と早急な再発防止対策を求める質問に、国は「重要かつ喫緊の課題。連続立体交差化を重点的に推進してまいりたい」と答えました。なお足立区議会では、立体化を求める意見書を全会一致で採択しました。

日本共産党

足立区議団ニュース

2005年第1回定例区議会報告

発行所  
日本共産党足立区議団

足立区中央本町1-17-1  
足立区役所内

発行責任者 大島芳江  
編集責任者 伊藤和彦

みなさんのご意見をおよせ下さい

来年度の予算要望にいかします。

区議団 Tel.03-3880-5770 Fax.03-3880-5682

足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp

足立区議団のホームページ <http://www.cpi-media.co.jp/adachi/>

やる気になれば

わずかこれだけで  
新年度予算の  
0.63%

日本共産党が  
予算組み替えを  
提案

区の予算2132億円のうち  
14億円動かせばできます

2005年度予算組み替え案の主なもの

|                                              |           |
|----------------------------------------------|-----------|
| 値上げされた保育料の負担軽減策                              | 5,135万円   |
| 少人数学級の実施<br>(小学1-3、中学1-3年生を当面35人学級に)         | 2億6,400万円 |
| 学校給食予算の維持<br>(ガイドラインを撤回し、質の低下を防ぐ)            | 5,491万円   |
| 子ども医療費助成を中学生まで拡大<br>(小学1年は通院・入院助成、中学生まで入院助成) | 8,000万円   |
| 学校図書室に司書配置                                   | 9,873万円   |
| 地域体育館の小中学生使用料の無料化                            | 91万円      |
| 介護保険利用料減額の拡大                                 | 1億1,883万円 |
| 介護保険料軽減の拡大                                   | 2億6,808万円 |
| 高齢者重度介護手当の創設                                 | 2億9,948万円 |
| 高齢者福祉電話の従来どおりの助成                             | 3,235万円   |
| 緊急生活支援制度の実施                                  | 7,500万円   |
| 住宅改良助成の拡大で耐震補強工事も対象に                         | 814万円     |
| 商店街若者支援事業<br>(後継者づくり出前塾)                     | 150万円     |
| 足立版「マイスター制度」の創設                              | 100万円     |
| 戦後60年にふさわしい平和事業の実施                           | 1,134万円   |
| 中小企業者のためのパソコン講座                              | 230万円     |

財源はこうして

|                                                               |            |
|---------------------------------------------------------------|------------|
| 区議会議員報酬の10%削減                                                 | 3,959万円    |
| 同和対策事業費削除                                                     | 514万円      |
| 新東京タワーの誘致費用削除                                                 | 1,650万円    |
| 区営住宅の改修・整備費の積立は必要だが修繕等の計画ですぐ必要でない額を減                          | 1億円        |
| 区独自の学力テストは必要ない、減額                                             | 5,000万円    |
| 文化芸術劇場(株)コミュニティーツの管理運営費5億5千万円の内、05年度支出根拠のない増額分と会社がまかなうべき人件費削除 | 1億1,500万円  |
| 予備費の減                                                         | 1億円        |
| 繰入金減債基金の取り崩し                                                  | 13億8,272万円 |

## 教育

学校給食の質を  
落とさないために奮闘

区は、給食の業務委託経費を四千万円削減することを決め、「効率化」と称して、「手間のかかる料理」や「食材」「特別給食」の制限を内容とするガイドラインを示してきました。

日本共産党は、子どもに食文化を伝える教育の役割を軽視するものであり、栄養士の役割を低め、教育としての学校給食を後退させるものと、「ガイドライン」の撤回と委託費を元にもとずくように提案しました。

区は、「給食の質を下げることなく、今までどおり栄養士の指示書にそって調理をしていただく」と答弁し、「ガイドライン」の修正を行いました。

二育学力テストを改めて  
実施する必要はない

昨年、足立区は、都教委が実施した学力テスト(学力調査)を公表したため、平均点だけが、「一人歩き」し、学校の序列化、競争に拍車をかけました。昨年一月、国連子どもの権利委員会は、日本の教育

学校図書司書の配置を

「すぐ切れる」集中力がない「子どもたちには、読書が有効であることが明らかにされています。日本共産党は、学校図書を有効に活用するために専門の司書の配置を提案しました。

区は、「重要性はわかっているが様々な施策を行っているのでその考えはない」と答弁しました。

## 業者支援

「足立版」マイスター制度、  
商店街へ「出前塾」などを提案

日本共産党は足立区のカバン、靴、家具、金属加工、和・洋菓子、花作りなど区内業者の優れた技術・技能者を区として認定する「足立版マイスター制度」創設を提案しました。

## 健康

区民の健診「要医療」の  
人にも個別通知

区は、これまで区民健診(生活習慣病予防健診)を受けた人のうち、「要医療」とされた区民には個別通知をやめていました。

日本共産党は、「要医療」の人にも受診の機会を与え受診票を送付すべきと繰り返し質問しついに、区は「要医療者にも送付する」と答弁しました。これにより、要医療者の二万五千人に通知されることになりました。

また区議団は、乳がん検診の二千万円の自己負担を前立腺がん同様に千円に軽減することを要求しました。

## 災害対策

住宅耐震補強と  
総合相談窓口を

個人住宅の耐震補強工事を促進することは、震災における被害拡大を防ぐことにつながります。

「あまりにもひどい」  
介護保険の改悪にストップを

「保険料は年金から天引きされても、特養にも入れない」「負担ばかり増えた」。二〇〇〇年からスタートした介護保険制度は、今年「五年後の見直し」に入り、法案審議が行われています。しかし、その主な内容は「改正」とは程遠く、今年一〇月から、介護施設の「部屋代」「食費」を全額利用者負担にし、一・五倍前後の値上げを行う「予防重視」をいながら、要支援の人全員と要介護一の人七割の人を、現在の介護・生活援助の在宅サービスから排除する。それでも保険料は大幅に値上るといふものです。「金持ちしか施設に入れなくなる」「ヘルパーさんがいなくなったら困る」と心配の声

が上がっています。

日本共産党は、改悪の中止を強く求めるとともに、「保険料の減額制度から、預貯金要件をなくす」「施設利用者の新たな負担は区が補う」「シルバーカー、福祉電話など介護保険外の高齢者福祉施策の負担増をやめ、充実する」など、足立区でできる改善策や負担軽減策を財源も示して提案し、実施を迫りました。

区は「保険料の預貯金要件を緩和するように諮問する」など、一部前向きな答弁がありましたが、制度の改悪については「自立支援にあつたサービスが受けられるようになる」など、政府に追従する姿勢に終始しました。

わずか400万円の高齢施策は削り、  
積立金(貯金)は268億円も

えっ! 学校警備員  
を全廃?

子どもの安全を守るためにも「人の手と目が必要」と学校や父母から声が上がっています。

ところが区は、今議会に事務職員と警備員を全廃する条例を提案。自民・公明・民主が賛成しました。

日本共産党は、学校の安全を守り、教育の充実をはかるためにこの条例に反対しました。

お金の使い方が  
間違っていないませんか

区は、保育料を段階的に四〇％値上げ、社会教育団体に施設使用料の負担増、高齢者福祉電話の縮小。さらに日常生活用具給付(高齢者のシルバーカー、電磁調理器など、四〇〇万円)など、わずかな予算まで削っています。

その一方、シアター二〇〇(足立区文化芸術劇場)を運営する「株」ミニシアターに昨年一〇億円、今年は五億五〇〇〇万円もつぎ込んでいます。また区は今後、総額六四〇億円の大規模開発を打ち出し、このため五〇〇億円を積み立てる計画です。〇五年度当初予算でのため込み金は二六八億円余となっています。お金の使い方が間違っていないませんか?

# こんな負担増は許せません ごいっしょに声を上げましょう!

増税計画で区民の影響(主なもの)

| 増税計画                 | 実施時期<br>(住民税) | 影響を受ける<br>区民の人数 | 影響額<br>(住民税) |
|----------------------|---------------|-----------------|--------------|
| 配偶者特別控除廃止            | 2005年6月       | 約6万2千人          | 8億8千万円       |
| 妻の課税・均等割<br>非課税措置の廃止 | 2005年6月       | 約3万3千人          | 5千万円         |
| 定率減税1/2減             | 2006年6月       | 約25万7千人         | 14億円         |
| 定率減税廃止               | 2007年6月       | 納税者の90%         | 28億円         |
| 公的年金控除縮小             | 2007年6月       | 約2万人            | 1億3千万円       |
| 老年者控除廃止              | 2007年6月       | 約2万人            | 3億6千万円       |

## 区民の .....声

「足立に  
引っ越してきて、  
保育料が4000円も  
高くなって大変です」  
(西新井本町・Iさん)

区民の暮らしと営業は、自  
民・公明が与党の小泉政権に  
よる「構造改革路線」で、いつ  
そつ深刻さが増えています。  
「年金から天引きされる金  
額が増えて毎年年金が減って  
いる。じわじわと首を締め付  
けられている感じ」、配偶者  
控除がなくなつて生活が大変  
の聲が上がっています。  
国がすすめる定率減税の廃  
止など一連の負担増は、戦後  
最悪の負担増で、個人消費を  
さらに冷え込ませ、日本経済  
への影響を与えます。しかも

あなたの負担こうなります タイプ別シュミレーション

|               | 家族数 | 世帯収入                | 負担増・給付減  | さらに消費税が<br>10%になったら |
|---------------|-----|---------------------|----------|---------------------|
| 30代<br>共働き    | 3人  | 月給35万円<br>(年収480万円) | 10万8600円 | 12万9600円            |
| 40～50代<br>共働き | 4人  | 月給50万円<br>(年収750万円) | 24万400円  | 18万7500円            |
| 40代<br>自営業    | 3人  | 年間事業所得<br>334万円     | 25万4500円 | 29万200円             |
| 高齢者夫婦<br>年金生活 | 2人  | 年収260万円             | 11万9700円 | 8万8400円             |

大企業や高額所得者への減税  
はそのままで。

どこまで痛みを押しつけ  
ば気がすむのでしょうか。

民主党も社会保障への企業  
負担を減らし消費税の増税を  
主張しています。

ごいっしょに負担増ノーの  
声をあげていきましょう。



憲法九条を守り平和の世論を広げよう

日本共産党

がんばる渡辺やすのぶ都議  
都政と区政を結んで

シルバーパス・子ども医療費・三〇人学級

区民の暮らしと大きくかわっている都議会  
渡辺やすのぶ都議は、都民のくらしを守るためがんばっています。

### ●シルバーパス

東京都が全面有料化を行ったシ  
ルバーパス。区民から「年金生活  
ります。もう買えません」の聲が  
よせられています。非課税  
から課税になる高齢者は足  
立区でおよそ1万人。

### ●三〇人学級

生までの入院医療費と小学一年生  
までの通院医療費を無料にするこ  
とができます。

日本共産党は、当面、所  
得に応じて三千円や五千円、  
一万円のパスをつくるなど  
負担軽減をはかることを提  
案しています。

### ●子ども医療費

子ども医療費助成の中学  
生までの拡大を要求してい  
ます。現在、都の制度には  
所得制限がありますが、撤  
廃をめざしてがんばってい  
ます。撤廃されれば、その  
財源で足立区では中学三年

少人数学級の実施は全国に広  
がっています。実施した自治体では  
「生活習慣、学習ともに身につく」  
「学校が楽しい」という子どもが増  
えた。「不登校児も2割以上減つ  
た」と報告されています。  
今年二月文部科学大臣はじめ  
て少人数学級の必要性を認めまし  
た。

未実施だった県も今年度、実施  
の方向となり、ついに、少人数学  
級の実施を拒否しているのは東京  
都だけとなっています。百二十万  
人の請願署名にこめられた都民の  
願いである三〇人学級を実現する  
よう強く求めています。

